

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年11月分【埋立中共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国 土 交 通 省 近 畿 地 方 整 備 局

大 阪 港 湾 局

大 阪 湾 広 域 臨 海 環 境 整 備 セ ン タ ー



## 目 次

### I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

### II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年11月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	1点(南港中央公園局)	11月1日~30日	通年連続
窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO)			
浮遊粒子状物質(SPM)			
風向・風速			

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	11月11日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

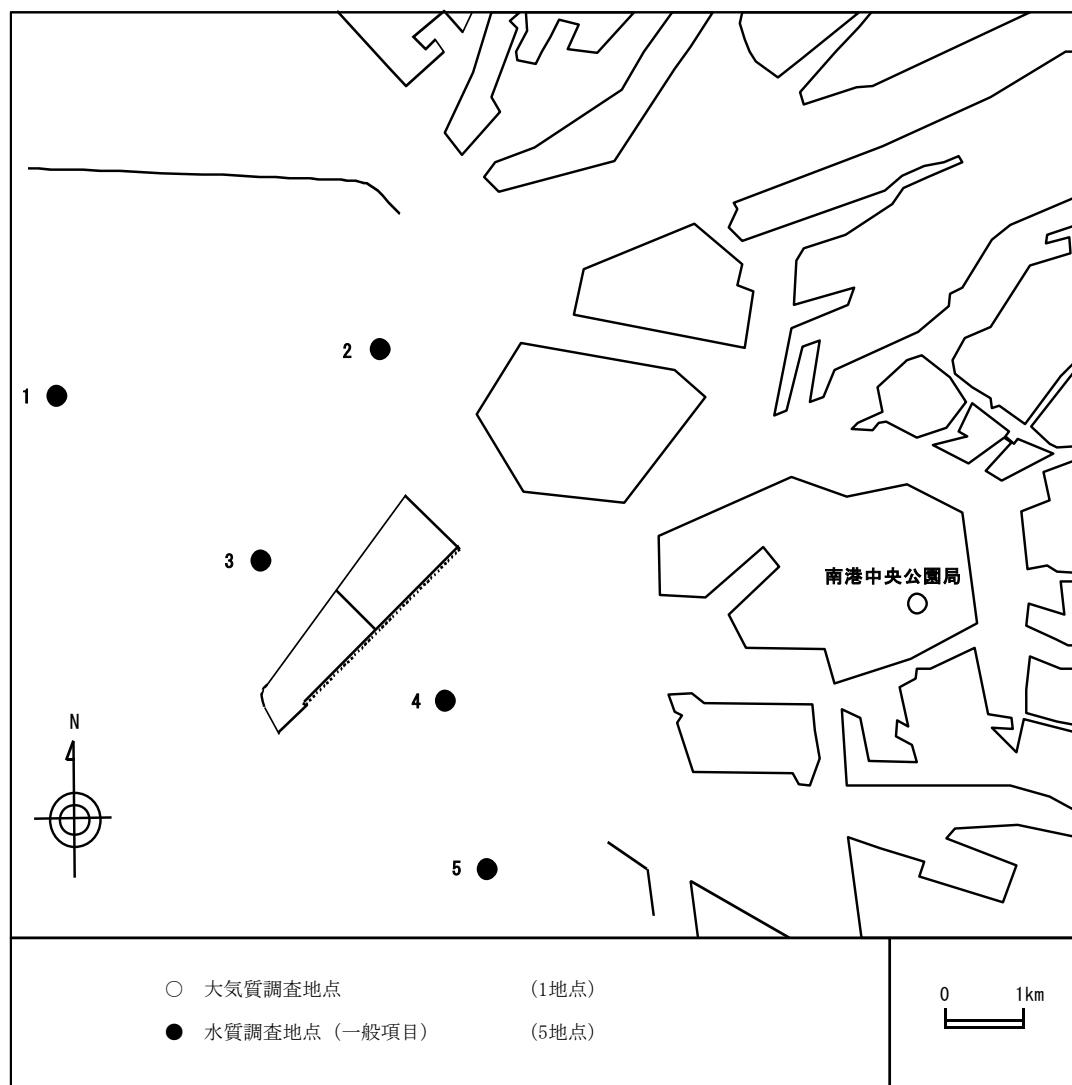
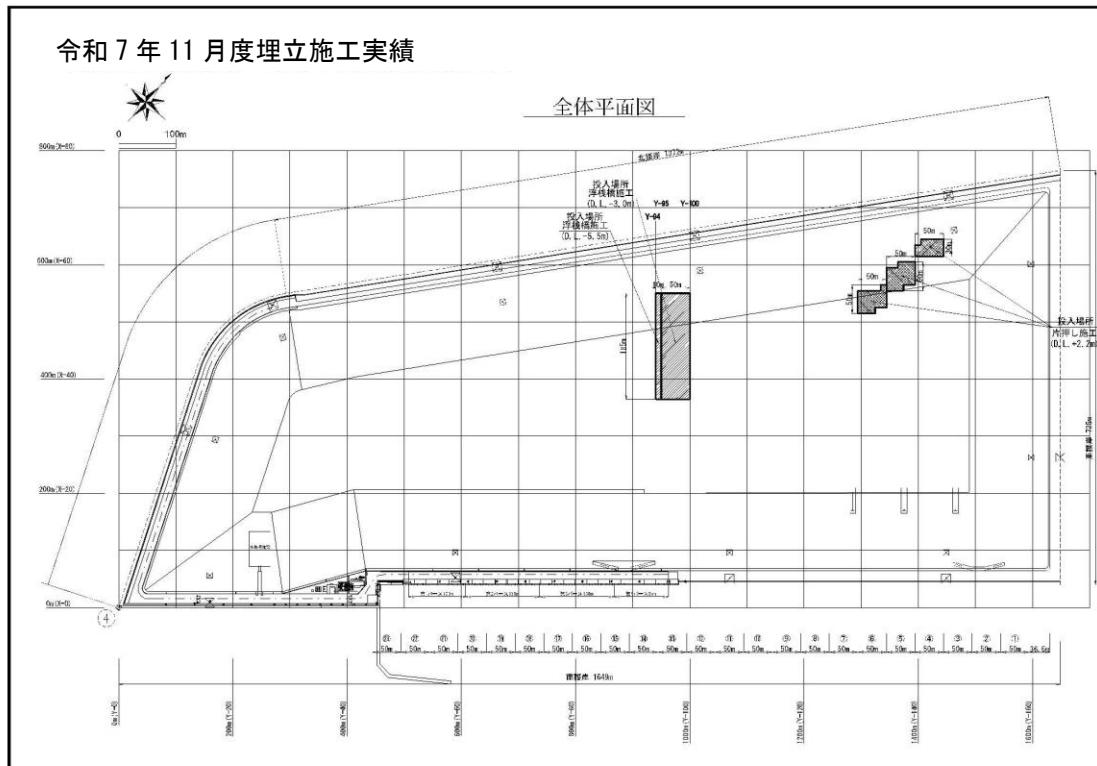


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

令和 7 年 11 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
8,589,260.3	61.5%

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1時間値の最高値は 0.010ppm であり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の月平均値は、0.023ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.038ppm であり、環境基準値を下回っていた。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup> 以下、1時間値 0.20mg/m<sup>3</sup> 以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は 0.029mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は 0.047mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

#### (2) 水質

##### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層及び下層ともに 8.0～8.1 の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.2～3.1mg/L、下層で 2.1～2.5mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (3.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 6.9～7.7mg/L、下層で 5.6～6.7mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

###### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.44～1.1mg/L、下層で 0.25～0.32mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2(0.68mg/L) 及び調査地点 4(1.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

##### 5) 全磷 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全磷 (T-P) は上層で 0.041～0.13mg/L、下層で 0.042～0.051mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2(0.077mg/L)、調査地点 3(0.063mg/L)、調査地点 4 (0.13mg/L) 及び調査地点 5 (0.054mg/L) 、下層の調査地点 4 (0.051mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で0.021～0.15mg/L、下層で0.020～0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

##### 6) 濁度

濁度は上層でいずれも 1 度(カドン)、下層で 1～2 度(カドン) の範囲であった。

##### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層及び下層ともに 1～5mg/L の範囲であった。

##### 8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 2.0～8.4 $\mu$ g/L、下層で 1.9～4.9 $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《参考》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2) 水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
		最小値 (m/n)	最大値 (m/n)
(pH) [−]	上層	7.7	～ 8.6 (13/60)
	下層	7.8	～ 8.3 (0/60)
(COD) [mg/L]	上層	1.6	～ 4.9 (34/60)
	下層	1.2	～ 3.6 (4/60)
(DO) [mg/L]	上層	5.2	～ 14 (0/60)
	下層	0.6	～ 11 (14/60)
(T-N) [mg/L]	上層	0.46	～ 2.1
	下層	0.29	～ 0.82
(T-P) [mg/L]	上層	0.021	～ 0.15
	下層	0.020	～ 0.25

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。



## II 事後調査結果



大気質測定結果総括表 [令和7年11月分]

項目	測定局	南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	718
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
	備考	

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

## 二酸化硫黄測定結果 [令和7年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.004	0.006
	2 (日)	0.004	0.005
	3 (月)	0.003	0.004
	4 (火)	0.004	0.005
	5 (水)	0.004	0.005
	6 (木)	0.004	0.005
	7 (金)	0.004	0.006
	8 (土)	0.004	0.005
	9 (日)	0.003	0.004
	10 (月)	0.003	0.005
別	11 (火)	0.004	0.005
	12 (水)	0.004	0.006
	13 (木)	0.005	0.008
	14 (金)	0.004	0.005
	15 (土)	0.004	0.004
	16 (日)	0.004	0.005
	17 (月)	0.005	0.008
	18 (火)	0.003	0.004
	19 (水)	0.003	0.004
	20 (木)	0.004	0.006
値	21 (金)	0.004	0.007
	22 (土)	0.004	0.005
	23 (日)	0.004	0.006
	24 (月)	0.006	0.010
	25 (火)	0.004	0.005
	26 (水)	0.004	0.008
	27 (木)	0.004	0.006
	28 (金)	0.003	0.004
	29 (土)	0.003	0.004
	30 (日)	0.005	0.007
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		718	
月平均値(ppm)		0.004	
日平均値の最高値(ppm)		0.006	
1時間値の最高値(ppm)		0.010	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数(時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

## 一酸化窒素測定結果 [令和7年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.004	0.018
	2 (日)	0.001	0.009
	3 (月)	0.001	0.002
	4 (火)	0.007	0.027
	5 (水)	0.013	0.044
	6 (木)	0.006	0.018
	7 (金)	0.014	0.101
	8 (土)	0.006	0.065
	9 (日)	0.001	0.004
	10 (月)	0.003	0.011
別	11 (火)	0.017	0.098
	12 (水)	0.023	0.133
	13 (木)	0.029	0.079
	14 (金)	0.028	0.148
	15 (土)	0.012	0.056
	16 (日)	0.002	0.011
	17 (月)	0.014	0.064
	18 (火)	0.003	0.007
	19 (水)	0.005	0.016
	20 (木)	0.017	0.060
値	21 (金)	0.027	0.143
	22 (土)	0.008	0.063
	23 (日)	0.003	0.013
	24 (月)	0.008	0.040
	25 (火)	0.013	0.048
	26 (水)	0.010	0.039
	27 (木)	0.027	0.092
	28 (金)	0.003	0.008
	29 (土)	0.005	0.018
	30 (日)	0.006	0.020
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		717	
月平均値(ppm)		0.011	
日平均値の最高値(ppm)		0.029	
1時間値の最高値(ppm)		0.148	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

## 二酸化窒素測定結果 [令和7年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.018	0.035
	2 (日)	0.012	0.028
	3 (月)	0.007	0.014
	4 (火)	0.022	0.031
	5 (水)	0.026	0.035
	6 (木)	0.024	0.037
	7 (金)	0.026	0.042
	8 (土)	0.019	0.036
	9 (日)	0.016	0.027
	10 (月)	0.015	0.031
別	11 (火)	0.024	0.037
	12 (水)	0.030	0.042
	13 (木)	0.038	0.053
	14 (金)	0.026	0.042
	15 (土)	0.022	0.035
	16 (日)	0.020	0.044
	17 (月)	0.025	0.042
	18 (火)	0.011	0.018
	19 (水)	0.019	0.028
	20 (木)	0.026	0.043
値	21 (金)	0.028	0.043
	22 (土)	0.024	0.042
	23 (日)	0.019	0.032
	24 (月)	0.030	0.051
	25 (火)	0.031	0.043
	26 (水)	0.029	0.049
	27 (木)	0.036	0.051
	28 (金)	0.015	0.029
	29 (土)	0.024	0.037
	30 (日)	0.024	0.047
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		717	
月平均値(ppm)		0.023	
日平均値の最高値(ppm)		0.038	
1時間値の最高値(ppm)		0.053	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数(時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数(時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数(日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和7年11月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (土)	0.022	83.0	0.053
	2 (日)	0.013	90.0	0.037
	3 (月)	0.008	90.7	0.016
	4 (火)	0.029	75.4	0.054
	5 (水)	0.038	67.3	0.079
	6 (木)	0.030	79.2	0.048
	7 (金)	0.040	64.8	0.141
	8 (土)	0.025	75.8	0.101
	9 (日)	0.017	93.0	0.031
	10 (月)	0.018	84.1	0.042
別	11 (火)	0.042	58.2	0.135
	12 (水)	0.053	57.1	0.174
	13 (木)	0.067	56.3	0.131
	14 (金)	0.054	48.3	0.181
	15 (土)	0.035	64.0	0.085
	16 (日)	0.022	89.5	0.055
	17 (月)	0.039	63.4	0.104
	18 (火)	0.013	80.1	0.023
	19 (水)	0.024	80.2	0.044
	20 (木)	0.043	60.3	0.098
値	21 (金)	0.055	50.5	0.185
	22 (土)	0.032	75.4	0.104
	23 (日)	0.022	87.4	0.045
	24 (月)	0.038	79.1	0.076
	25 (火)	0.044	69.4	0.086
	26 (水)	0.039	73.4	0.088
	27 (木)	0.062	57.3	0.124
	28 (金)	0.017	83.3	0.037
	29 (土)	0.028	82.8	0.050
	30 (日)	0.030	80.4	0.060
有効測定日数 (日)		30		
測定時間 (時間)		717		
月平均値 (ppm)		0.033		
日平均値の最高値 (ppm)		0.067		
1時間値の最高値 (ppm)		0.185		
月平均値 NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		68.3		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/(NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2/(NO+NO_2) =$$

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO+NO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

## 浮遊粒子状物質測定結果 [令和7年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (土)	0.009	0.015
	2 (日)	0.014	0.018
	3 (月)	0.009	0.013
	4 (火)	0.011	0.015
	5 (水)	0.012	0.017
	6 (木)	0.012	0.017
	7 (金)	0.016	0.020
	8 (土)	0.020	0.028
	9 (日)	0.014	0.022
	10 (月)	0.017	0.027
別	11 (火)	0.015	0.024
	12 (水)	0.016	0.047
	13 (木)	0.022	0.031
	14 (金)	0.022	0.032
	15 (土)	0.017	0.034
	16 (日)	0.013	0.026
	17 (月)	0.021	0.031
	18 (火)	0.011	0.016
	19 (水)	0.008	0.011
	20 (木)	0.014	0.025
値	21 (金)	0.022	0.035
	22 (土)	0.015	0.025
	23 (日)	0.016	0.023
	24 (月)	0.025	0.040
	25 (火)	0.022	0.036
	26 (水)	0.020	0.036
	27 (木)	0.029	0.040
	28 (金)	0.018	0.028
	29 (土)	0.011	0.018
	30 (日)	0.018	0.029
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		717	
月平均値(mg/m <sup>3</sup> )		0.016	
日平均値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )		0.029	
1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )		0.047	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数(時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数(日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和7年11月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速		最多風向	
		平均風速 (m/s)	最大風速 (m/s)		
		風速 (m/s)	風向 16方位	16方位	
日別	1 (土)	1.1	2.4	WSW	WNW
	2 (日)	1.2	2.3	WSW	W
	3 (月)	1.6	2.6	NNE	WNW
	4 (火)	1.0	1.7	ESE	ESE
	5 (水)	1.5	2.3	NE	NE
	6 (木)	1.0	1.9	N	N
	7 (金)	1.1	2.0	NNE	NNE
	8 (土)	0.9	2.0	E	ENE
	9 (日)	1.0	1.8	NE	NE
	10 (月)	1.3	3.3	WNW	WNW
日別	11 (火)	0.9	1.7	NNE	NNE
	12 (水)	0.9	2.3	ENE, E	ENE
	13 (木)	0.6	1.4	ESE	NE
	14 (金)	0.8	1.7	WSW	NNE
	15 (土)	0.7	1.4	WSW	N
	16 (日)	0.8	1.4	NE, NNE	NNE
	17 (月)	1.3	2.5	N	NNE
	18 (火)	1.6	3.2	WNW	WNW
	19 (水)	1.0	1.8	NNE	NNE
	20 (木)	1.0	2.0	WSW	NNE
日別	21 (金)	1.1	2.9	WSW	WNW
	22 (土)	0.8	1.8	WSW	ESE
	23 (日)	0.7	1.4	SSW, WSW	E
	24 (月)	0.7	1.6	ESE	ESE
	25 (火)	0.8	1.6	ESE	ENE
	26 (水)	1.2	2.5	WSW	WNW
	27 (木)	1.0	4.2	WNW	ENE
	28 (金)	1.6	4.0	WNW	WNW
	29 (土)	0.8	1.3	SSW	ENE
	30 (日)	0.7	1.5	SW	NNE
測定時間（時間）		720			
月平均風速 (m/s)		1.0			
月最大風速 (m/s)		4.2			
月最多風向 (16方位)		NNE			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

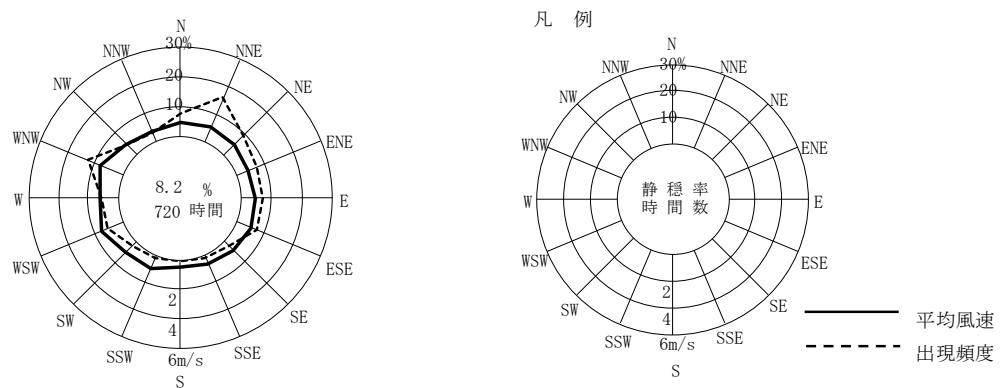
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和7年11月分]

項目\方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	114	65	50	49	50	16	9	4	6	12	42	42	90	34	23	55	59	720
頻度(%)	15.8	9.0	6.9	6.8	6.9	2.2	1.3	0.6	0.8	1.7	5.8	5.8	12.5	4.7	3.2	7.6	8.2	-
平均風速(m/s)	1.1	1.0	0.8	0.9	1.0	0.8	0.6	0.5	0.9	1.0	1.5	1.2	1.6	1.0	0.7	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和7年11月分]

## 水質様式第1号

## 水質調査結果（一般項目）[令和7年11月分]

調査日：令和7年11月11日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値～最大値	平均値
時刻		8:23	8:05	8:50	8:32	8:10	～	～
透明度	[m]	3.7	4.2	4.1	3.9	4.0	3.7～4.2	4.0
水温	[°C]	19.1 20.8	19.6 21.2	19.8 21.2	19.6 21.0	20.1 20.8	19.1～20.1 20.8～21.2	19.6 21.0
塩分	[−]	30.4 32.5	30.4 32.5	30.8 32.6	30.1 32.6	31.1 32.5	30.1～31.1 32.5～32.6	30.6 32.5
濁度	[度(カドン)]	1 2	1 1	1 2	1 2	1 1	1～1 1～2	1 2
浮遊物質量 (S S)	[mg/L]	1 3	4 1	5 4	4 5	5 5	1～5 1～5	4 4
水素イオン濃度 (p H)	[−]	8.0 8.1	8.0 8.0	8.1 8.1	8.0 8.1	8.1 8.1	8.0～8.1 8.0～8.1	～
化学的酸素要求量 (C O D)	[mg/L]	2.7 2.4	2.9 2.1	2.2 2.2	3.1 2.4	2.9 2.5	2.2～3.1 2.1～2.5	2.8 2.3
溶存酸素量 (D O)	濃度 [mg/L]	7.7 6.7	7.2 5.6	7.5 6.2	6.9 6.2	7.5 6.7	6.9～7.7 5.6～6.7	7.4 6.3
	飽和度 [%]	100 91	94 76	99 85	90 84	100 91	90～100 76～91	97 85
全窒素 (T - N)	[mg/L]	0.56 0.25	0.68 0.28	0.48 0.28	1.1 0.32	0.44 0.30	0.44～1.1 0.25～0.32	0.65 0.29
全磷 (T - P)	[mg/L]	0.041 0.042	0.077 0.045	0.063 0.047	0.13 0.051	0.054 0.047	0.041～0.13 0.042～0.051	0.073 0.046
クロロフィルa (chl. a)	[μg/L]	2.5 3.0	4.1 1.9	8.4 4.9	2.0 3.4	6.7 3.5	2.0～8.4 1.9～4.9	4.7 3.3

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項